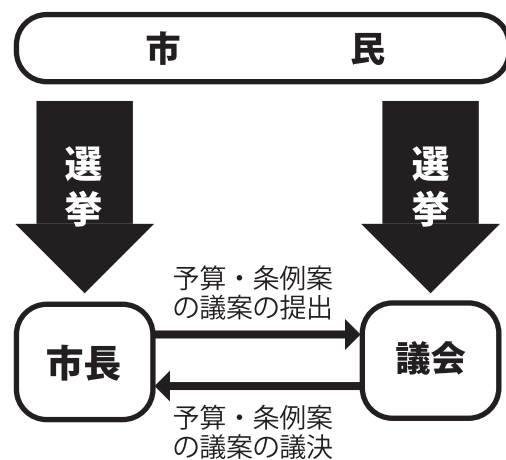


議会の役割をご説明します



簡単に説明すると・・・

市長は

予算や条例を作る権限を持ち、市役所職員を率いて業務を行うリーダー。
行政サービスを実際に行う役割を担う。

議会は

一人一人が予算や条例案に賛否を表明する権限を持つ議員の集まり。
市が方向性を誤らないよう監視・提案・決定する役割を担う。

1. 市長と議員ってどう違うの？

日本国憲法では、地方自治体は執行機関として独任制の長（市長）、議事機関として合議制の議会を設置し、長と議会の議員をそれぞれ住民が直接選挙する二代表制をとっており、その一翼を担う議会は執行機関とは独立対等の関係にあり、その重要な機能として、地方自治体の基本事項を決定（決議）する団体意思の決定機能と執行機関を監視、評価する2つの機能を有しています。

2. 国会との違いは何？

国会は議員内閣制であり、議員の中から首相を選ぶ仕組みですが、地方議会は市長も議員も選挙で選ばれます。地方議会の仕組みを二代表制といい、市長の権限が強くなることが特徴です。

3. 議会の権限ってどんなものがあるの？

議会の権限については条例の制定または改廃、予算の決定、決算の認定など15項目が明示されている他、議決すべき事件を別途条例で定めることも出来ると規定しています。また、調査権、検査権、監査権、議員個人の権限として「一般質問」が認められています。これらの権限を活用して、議員同士が大いに議論し地域の課題や民意を確認した上で市民要望や行政課題を把握し合意形成に至ること、市民の皆様が納得できる政策を形成、議決することが出来ると期待されています。

4. 問題点はないの？

今の議会では議員が個々に執行機関へ疑問点をただすことのみに終始しており、議員間の協議はほとんど行われていないのが現状で、議会として執行機関の提案に正当性を与える議決機関にとどまっているとの批判もあります。

5. 今後の方向性は？

本来の二代表制を実現するカギは議会の改革にあります。議会として政策提案や監視、評価機能の強化を図り、市民の皆様に信頼される議会運営に取り組む事を決意して、積極的に議会改革を行い、市民の皆様の期待に応える議会を目指します。

6. 議会基本条例の制定へ

議員と議会のあり方を規定する議会基本条例の策定を進めています。開かれた議会、議論や政策提案ができる議会へと変える議会改革の柱です。

議員の日常活動をご紹介します

1. 定例議会が年4回あります。また、臨時議会もあります。
3、6、9、12月は定例議会、3月は予算審査、9月は決算認定があります。この間は、議案と予算、決算の内容を調べ、賛否を決めるので、毎日非常に忙しく活動しています。具体的には、市政と市民生活にどんな影響があるのか、背景にどんな問題があるのか、委員会で市長や部課長と質疑しますので、一生懸命に調査・学習しています。また一般質問では市政や市民の皆様の生活等について質問します。



2. 議会改革検討会と議会基本条例プロジェクトチームを毎月2～3回やっています。
具体的に議会を変えるため、議会基本条例案やこの発信紙を作る等、活発に議論・学習しています。

3. 清掃施設組合議会、競艇組合議会、後期高齢者医療広域連合議会、広域水道企業団議会など、他市と組合を作って運営している議会に、代表議員を送っています。

4. 視察や研修会および意見交換会を行なっています。

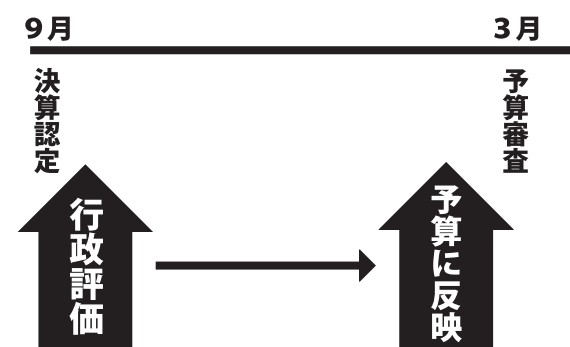
昨年度の議会視察は9回（市外4回、市内5回）、研修会は5回、各種団体との意見交換会は3回ありました。また、会派や個人でも研修や視察をそれぞれ行なっています。

5. 年間を通して、市民から相談を受けることも多くあります。

6. 地域の会合や団体の会合、外部の研修会等にも出席しています。

議会による行政評価をご紹介します

泉佐野市議会では、先進的な取組として「議会による行政評価」を2年前から実施しています。これは、前年度に市が実施した全事業から各議員1事業ずつ抽出し、18事業について全議員が評価を行うものです。更に、各評価結果をもとに事業の拡大・縮小等の議論をし、議会としての評価をまとめ、市長に予算への反映を求めています。平成16年度から執行機関の行政評価が実施されており、その結果は議会に報告・説明されていますが、内部評価のみの行政評価では事業担当者による一方向の自己評価となるため、異なる視点から行政評価を行う目的で、議会による行政評価を導入しました。議会が独自の評価を行い、新たな問題点を明らかにし、行政側に次年度予算へ反映させることは、議会本来のチェック機能を目に見える形で発揮するものです。行政評価は、議員個々の決算に対する取り組み姿勢や議員個人の知識向上などに大きく影響するものであり、また、評価結果の公表は、議会から市民の皆様への情報発信として、大きな意義を持っています。



これまでは・・・

行政自身が行政を
内部評価



施策・事業

これからは・・・

行政自身が行政を
内部評価



施策・事業

議会が評価
様々な効果を創出